

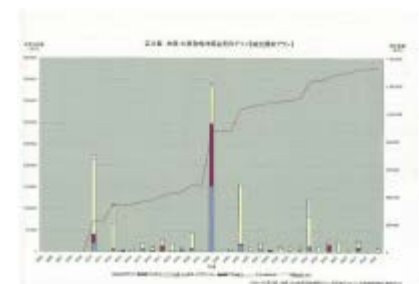
## FMの継続 ①

## 施設の更新問題にできることから取組む！

- H19 □認定FMマネジャー（民間企業経験者）採用  
 H20 □施設管理業務支援システム導入／公有資産情報一元化・完成図書保管の徹底・長期修繕計画の作成  
 H21 □財産活用課（企画財政部）誕生  
 □成果／ ① 国との連携で廃止施設の売却で22,000千円支出→7,000千円収入に転換  
 ② 未利用地売却（塩漬け土地の売却促進）831,000千円  
 ③ Yahoo! 公有財産売却に参加／不要物品売却 33件 432千円  
 ④ 長期継続契約の締結を可能にする条例制定／機械警備業務43百万円（5年間）削減
- H22 □公会計管理台帳システム導入 公有資産情報の見える化促進  
 H23 □長期修繕計画室（財産活用課）誕生 FM推進部署  
 □成果／ ① 職員による建物設備点検 11,000千円削減
- H24 □倉敷市公共施設白書（本編）完成 公表  
 □岡山県FM連絡会議発足
- H25 □長期修繕計画室組織拡充（建築5名 電気1名 機械1名 事務1名 8名体制）  
 □修繕業務の一元化（現場確認→予算配当→発注→監理→確認→支払）  
 □倉敷市公共施設白書（施設別編）完成 公表  
 □官民連携担当部署を指定（PPP・PFIを積極的に活用し施設の更新問題に取り組む）  
 □第1回ちゅうぎんPPP/PFIセミナー開催
- H26 □ESCO事業開始 消防局合同庁舎他全3施設 15年間で1億2,000万円削減  
 □PPS 排水機場3外全9施設実施 26,800千円削減  
 □第2回ちゅうぎんPPP/PFIセミナー開催  
 □岡山県FM研究会開催（岡山県市町村振興協会の支援の下、連続9回開催）公共施設白書の作成が目標  
 □倉敷市PFI活用指針公表（公共施設更新の際にはまずPFI導入の検討を行う）  
 積極的に地域密着型PFIの導入に取り組む 中央斎場でPFI導入可能性調査実施
- H27 □公有財産活用室へ（課長級組織から次長級組織に変更 16名体制）  
 □少年自然の家でPFI導入可能性調査実施  
 □児島支所他全3施設で第2弾となるESCO事業検討  
 □PPS 排水機場他全58施設で実施予定  
 □倉敷市公共施設マネジメントシンポジウム開催（中核市市長会）  
 □高梁川広域圏公共ファシリティマネジメント研修（連続6回開催予定）  
 □広域連携自治体支援の取組み、高梁川流域自治体連携協定の中で笠岡市&早島町に対して支援  
 □倉敷市公共施設白書（施設別編）更新  
 □倉敷市公共施設等総合管理計画公表予定



項目	内容	写真
1	施設管理業務支援システム導入による業務効率化の促進	
2	公有財産売却による収入の増加	
3	ESCO事業によるエネルギーコスト削減	
4	PPS事業による排水機場の更新	



## FMの継続 ②

### 倉敷市公共施設等総合管理計画

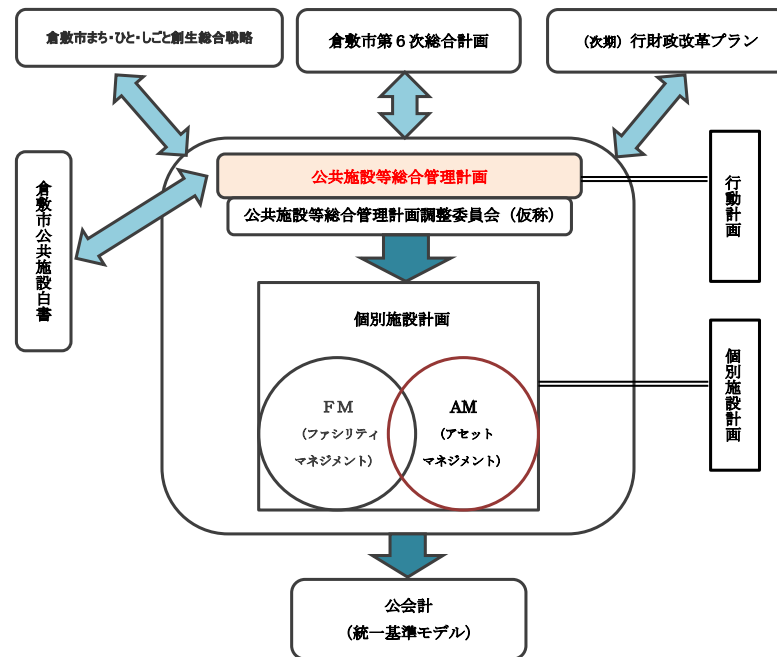
#### ○倉敷市公共施設等総合管理計画策定の流れ

- H27.09 倉敷市公共施設等総合管理計画素案作成  
 11 パブリックコメント募集  
 12 議会承認 公表



- 個別計画作成
- 公共施設再配置方針

※ 倉敷市においては、国の意向に沿って公共施設等総合管理計画を策定するものとし、「倉敷市第6次総合計画」「(次期)行財政改革プラン」「倉敷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」とも整合性をもつものとする。



## 広域連携 ①

### 岡山県FM研究会 (官官連携)

○テーマ：県内自治体みんなでいっしょに施設白書を作ろう！

○目標：FMに精通した人材育成、データ整備、ネットワークの構築を目指し、公共FMの課題解決のために施設の管理に留まらず、組織体制、データ分析、市民協働など、あらゆる知見を駆使して「住民にとっての最適」を創出する力を養う。

倉敷市が企画・運営を担当、岡山県市町村振興協会とのコラボ事業で9ヶ月間の共同ワーキングを実施し、最終的に12自治体が成果発表した。

総合アドバイザーに石原俊彦関西学院大学大学院教授に就任していただき、研修と実践の形式で毎回、国土交通省都市計画課課長補佐(当時)をはじめ多彩な講師を迎えた。

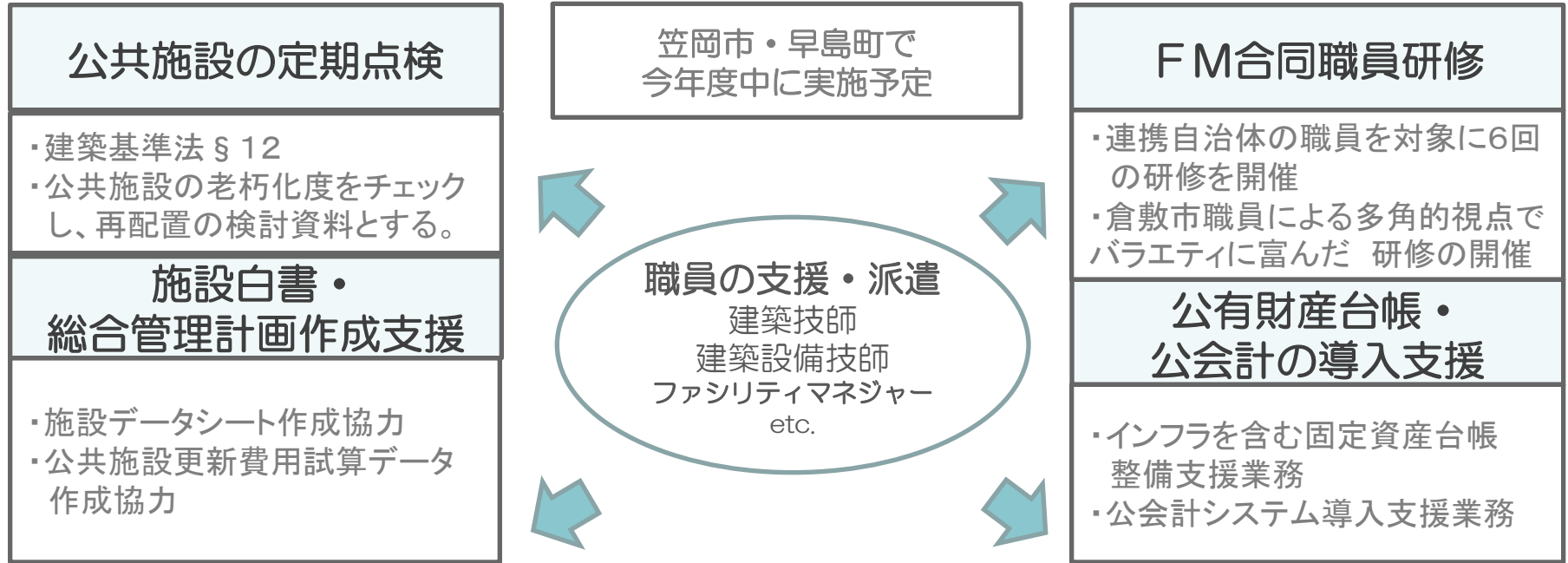
国のコンパクトシティ化等のPREの考え方、公会計の側面からの過剰資産に対する考察の方法、公共施設の再配置等について実際に進めている先進自治体の職員から学んだ。

11月には1泊2日での合宿形式で多くの自治体職員の協力を得て研究会を開催した。



## 広域連携 ②

高梁川流域自治体間連携公共FM事業 (6市3町)



**※課題**  
包括協定外の自治体との連携をどのようにするか。

### 連携による効果額試算

定年退職後の技師の配置も可能

No	項目	外部委託①	倉敷市受託②	差引①-②
①	建物施設カルテ作成(笠岡41+早島24施設)	6,500,000	332,000	6,168,000
②	建物現況調査報告(笠岡41+早島24施設)	4,779,000	3,606,000	1,173,000
③	建物長期修繕計画作成(笠岡41+早島24施設)	6,500,000	①に含む	6,500,000
④	公共施設等更新費用試算	1,500,000	①に含む	1,500,000
⑤	図面データ電子化(41+24)×20枚	480,000	480,000	0
	計	19,759,000	4,418,000	<b>15,341,000</b>